

**平成 29 年度 静岡県立こども病院
カーテン等賃貸借契約書（平成 29～34 年度）**

地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院（以下「甲」という。）と***
*****（以下「乙」という。）との間に次の賃貸借契約を締結する。

（目的）

第 1 条 乙は別表に記された医療用カーテン及びロールスクリーン（以下「カーテン等」という。）を甲に貸与し、甲はその対価として乙に賃借料を支払うものとする。

（業務内容）

第 2 条 乙は次項以下に規定する業務（以下、「本業務」という。）を実施する。なお、詳細は別紙「静岡県立こども病院カーテン等仕様書」及び付帯する文書に定める。

- 2 乙は契約日までに甲の指定する場所にカーテン等を設置する。
- 3 別に指定する間隔で、設置したカーテン等を洗濯する。
- 4 甲の故意によらざる原因によりカーテン等が汚損し、甲から洗濯依頼があった場合、乙は速やかにカーテン等を交換及び洗濯するものとし、その費用は乙の負担とする。

（契約期間）

第 3 条 契約期間は、平成 29 年 7 月 1 日から平成 34 年 6 月 30 日とする。

（使用の目的）

第 4 条 甲は、カーテン等を病院における業務の用に供するものとする。

（賃借料及び支払方法）

第 5 条 甲は、乙に対して賃借料として、金*****円に税法で規定する消費税率及び地方消費税率により計算した消費税相当額を加算した金額（円未満の端数を切り捨てた額）を支払うものとする。

- 2 賃借料は、下表のとおり各月毎に分割で支払うものとする。

毎月
*****円（税抜）

- 3 前項の賃借料は、翌月 10 日までに乙が甲に請求し、甲は請求書を受領した日から 30 日以内に支払うものとする。

（洗濯及び補修）

第 6 条 交換したカーテン等については洗濯及び補修を乙の負担により行うものとする。

- 2 乙はカーテン等の洗濯及び補修等の方法について必要に応じて甲の指導を受け、又はその検査に応じるものとする。

（運搬）

第 7 条 甲と乙の施設間のカーテン等の運搬は乙の負担により行うものとし、運搬専用車を用いるものとする。

（病毒感染防止）

第 8 条 甲は使用したカーテン等を乙に引き渡すときは、病毒感染等の危険がないことを

確認の上で引き渡すものとする。

（個人情報保護）

第9条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

（申出義務）

第10条 乙はこの契約締結後の事情の変化により、本業務を遂行することが困難となる、若しくは甲に不利になるような事情が生じたときは、その都度、甲に申し出て必要な指示を受けなければならない。

（権利義務の譲渡等の禁止）

第11条 乙は、第三者に対し本業務の全部もしくは一部の実施を委託し、あるいは請け負わせ、又はこの契約によって生じる権利義務を譲渡してはならない。但し、書面にてその旨を届け出て甲の承諾を得た場合は、この限りではない。

（契約の変更）

第12条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、本契約を変更しようとする時は、その理由を記載した書面を提出し、相手方の承諾を得るものとする。

（契約の解除）

第13条 甲は、次のいずれかに該当するときは、いつでもこの契約を解除することができる。

- (1) 乙が契約を履行しないとき、又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- (2) 乙が法令等又はこの契約に違反したとき。
- (3) 甲がこの契約について不正の事実を発見したとき。
- (4) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。
- (5) 次のアからオのいずれかに該当したとき。

ア 役員等（個人である場合にあっては当該個人をいい、法人である場合にあっては当該法人の役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下各号において同じ。）が暴力団員等（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下各号において同じ。））であると認められるとき

イ 暴力団（暴対法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下各号において同じ。）又は暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められるとき

ウ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用したと認められるとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して財産上の利益の供与又は不当に優先的な取扱いをする等直接的又は積極的に暴力団の維持若しくは運営に協力し、又は関与していると認められるとき

オ 役員等が、暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有していると認められるとき

- (6) 翌年度以降において、甲の歳入歳出予算の金額について、減額又は削除があったとき。

(損害賠償責任)

第 14 条 甲又は乙は、次に掲げる一の理由が生じたときには、その損害を被害者に賠償しなければならない。

(1) 乙が業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。

(2) 前条の定めによりこの契約が解除された場合において、相手方に損害を与えたとき。

(賃借料の処理)

第 15 条 第 13 条の各項によりこの契約が解除された場合の賃借料の処理は、甲が認める既賃借部分に相当する金額をもって清算する。

(合意管轄)

第 16 条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(定めのない事項の処理)

第 17 条 この契約に定めのない事項については、法令の定めるところによるほか、必要な事項については甲、乙協議の上決定するものとする。

上記契約の成立を証するため、この契約書 2 通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各自その 1 通を所持する。

平成 29 年 月 日

(甲) 静岡市葵区漆山 860 番地
地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立こども病院 院長 瀬戸 嗣郎

(乙)

別記

個人情報取扱特記事項

第1 基本的事項

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の適正な取扱いに努めなければならない。

第2 取得の制限

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、適法かつ適正な方法により取得しなければならない。

第3 安全管理措置

乙は、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第4 従業員の監督

乙は、その従業員に個人情報を取り扱わせるに当たっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、当該従業員に対する必要な監督を行わなければならない。

第5 再委託の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、個人情報の取扱いを第三者に委託してはならない。

第6 複写又は複製の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、この契約による業務を処理するため甲から提供された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第7 資料等の廃棄

乙は、この契約による業務を処理するため甲から提供を受け、又は乙自らが作成し若しくは取得した個人情報が記録された資料等を、この契約終了後直ちに廃棄するものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

第8 目的外利用・提供の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、本業務以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第9 取扱状況の報告等

甲は、必要があると認めるときは、個人情報の取扱い状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

第10 事故発生時における報告

乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

静岡県立こども病院カーテン等仕様書

第1 カーテン等の数量、大きさ、性能、設置場所及び設置期限

別表のとおりとし、平成29年7月1日(土)までに新調カーテン等の設置を完了すること。

第2 カーテン等の仕上げ寸法

リース業者は、当仕様書の縫製加工指示に従って加工するものとし、現場の意向及びその目的に合った仕上げをすること。カーテン等の仕上げ寸法は契約書別表のとおりとするが、仕立て前に現場実測し、寸法の修正箇所がある場合は、病院担当者に報告すること。

なお、別表の仕上げ寸法（使用布寸法ではなく）と同じ寸法を、カーテン等タグに記載すること。

第3 生地等の指定について

1 生地の品質・色合等

(1) 品質

別紙に示した参考商品又は、その同等品とすること。

(2) 色・柄

原則として無地又は目立たない柄とし、色はリース業者の標準色から、双方、協議して決定する。

2 生地の性能

(1) 生地は消防法第8条の3に基づく消防庁長官の認定を受けた難燃性の生地であること。(防災ラベル認定書を添付すること。)

(2) カーテン布は、耐光堅ろう度は4級以上、洗濯堅ろう度は4級以上のもの。

(3) 収縮率はタテヨコ共 1.0%以内のものとし、洗濯等でそれ以上の縮みが生じた場合は速やかに規定に適合するものに取り替えること。

(4) 別表にて指定する窓用ドレープカーテンは、遮光2級以上の性能を有すること。

(5) 仕切カーテン(メッシュ)のメッシュ部分は、上部60cm程度とする。

(6) ロールスクリーンは、ガラス繊維による水拭き可能な生地とする。

第4 縫製及び附属品等について

1 カーテン布は、ホツレ防止されたものを使用し、ホツレ防止されていないカーテン布は、上下の折返しは二つ折とし、上部折返しには50mm以上の芯地を入れ、下部折返しは100mmに仕上げること。

2 フックは、カーテンが脱落せず、ランナーから抜け落ちないように仕上げること。
(マジックテープ式のものは不可)

3 タッセル

(1) 全箇所同生地でタッセルバンドを製作し、縫い付けるものとする。

(2) 全てマジックテープ固定とすること。

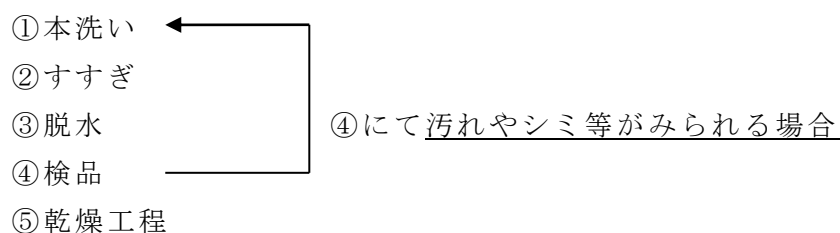
第5 クリーニングメンテナンスについて

1 定期クリーニングメンテナンス

- (1) 定期クリーニングメンテナンスは、12ヶ月に1回（計4回）実施すること。
- (2) 定期クリーニングの方法は次のアからサに示すとおりを実施すること。
- ア 定期クリーニングは、代替カーテン（乙負担）を取り付けた後、当仕様書に記載した方法によりクリーニングを行い、再び取り付ける方法にて行うものとする。
- イ カーテンの交換、洗濯は工程表を提出し、承諾を受けた後に実施する。
- ウ 開始から完了まで1ヶ月以内とする。
- エ 交換作業は、職員の指示に従い、患者の療養を妨げないよう心がけること。
- オ クリーニング中は必ず乙負担の代替カーテンを取付け、常にカーテンが取り付けられている状態を維持し、患者に迷惑を掛けないようにすること。
- カ カーテンの交換作業はフロア別を実施し、代替カーテンもそれに見合うサイズ・数量を準備し、速やかに行うこととする。代替カーテンの程度については、本カーテンと同等であり、色味等は遜色のないものをそろえることとし、病院担当に事前に提示し承認を得ること。
- キ クリーニング後のカーテンは完全に乾燥した状態で取り付けることとし、生乾きで取り付けてはならない。
- ク クリーニングの工程内で殺菌・消毒を必ず行い、院内感染の防止に心掛けること。（殺菌・消毒の方法は薬品または熱処理とする。）
- ケ 各病室等への出入りには細心の注意を払い、患者の安全確保に心がけ、入室の時間を短時間にするよう努めること。
- コ 日やけ、やぶれ等美観をそこなうものは、職員の指示に従い速やかに交換すること。
- サ 定期クリーニングの際は、同時にカーテンレール等付帯設備の点検、補修を行い、カーテンが支障なく使用出来るようにすること。

(3) クリーニング及び仕上げの方法

(例)



2 臨時クリーニングメンテナンス

- (1) 何らかの理由でカーテンが汚れたときは随時無償で交換洗濯すること。
- (2) カーテン等が汚れたときは、甲が取り外してビニール袋に入れて保管し、乙に回収の連絡をする。
- (3) 臨時メンテナンスの依頼には、当日中の対応を心がけるものとし、やむを得ず、翌日対応となる場合は甲へその旨を連絡すること。
- (4) クリーニングについては、当院からカーテンを回収した日を含め営業日6日で全工程を終了し、返却すること。

(5) 乙は、甲から求めがあった場合、乙負担の代替カーテンを用意し、臨時クリーニング中も常にカーテンが取り付けられている状態を維持すること。

3 汚染カーテンクリーニングメンテナンス

(1) 感染症患者が利用した部屋のカーテンの交換及び洗濯を随時行うこと。

(2) 甲は汚染カーテンクリーニング依頼の連絡はしないため、乙は週3回（月曜、水曜、金曜）、各病棟に設けられているリネン庫へカーテンを取りに来ること。指定曜日に回収できない場合は、甲へその旨を連絡し違う曜日に回収すること。（週3回の回収は厳守すること。）

(3) クリーニングについては、当院からカーテンを回収した日を含め営業日6日で全工程を終了し、返却すること。

(4) 乙は、甲から求めがあった場合、乙負担の代替カーテンを用意し、汚染カーテンクリーニング中も常にカーテンが取り付けられている状態を維持すること。

第6 特記事項

1 感染、汚染に対処するため、甲はカーテン専用の消毒設備を備え、その状況に応じた処理を随時適切に行うこと。また、クリーニング業法施行規則第1条第1項に規定する指定洗濯物は、クリーニング業法第3条第3項第5号に基づき適切に消毒を行うこと。

2 リネン類の処理に関わる各施設（入荷場、選別場、仕上げ及び出荷場等）が隔壁等により他の洗濯物に関わる各施設と完全に区分されていること。

3 乙は代替カーテン等を常備し、緊急な汚れ等で病院から要請があった際は速やかに対応すること。

4 クリーニングメンテナンスの対応を確認する意味で病院から要請があった場合、乙は主な病院へのメンテナンスリースの実績等を示す資料を提出すること。また、同時にカーテンの洗濯設備・プレス（アイロン）設備・消毒設備及び代替カーテンの写真を提出すること。

5 上記の設備・代替カーテン等の確認のための、立入検査に協力すること。

6 カーテンの社名表示は出来るだけ小さくし、目立たない所に取り付けること。

第7 その他

本仕様書に定めのない事項については、甲乙協議して決定する。